

「米子駅南北自由通路等整備事業」に関する

パブリックコメントを実施します。

米子市では、次のとおり米子駅南北自由通路、駅南広場等の整備を行います。つきましては、皆様からのご意見を反映できるよう、ご意見を募集します。

《ご意見の提出方法》

住所、氏名、電話番号（法人の場合は、所在地、名称及び代表者、電話番号）を明記し、お手数ですが、次のいずれかの方法でご提出ください。

- ・都市計画課（米子市役所本庁舎2階）へ持参
- ・郵送（〒683-8686 米子市加茂町1-1 米子市役所 都市計画課 米子駅周辺整備推進室 行）
- ・電子メール（toshikeikaku@city.yonago.lg.jp）
- ・ファクシミリ（0859-23-5396）
- ・米子駅に設置する意見提出箱へ投函

《ご意見の募集期間》 平成27年6月15日（月）～同年7月14日（火）



米子市建設部都市計画課

米子駅周辺整備推進室

米子駅南北自由通路等整備事業に係る パブリックコメントの実施について

米子市では、米子駅南北地区の分断解消及び交通の円滑化を目的とした米子駅南北自由通路等整備事業を実施することとしています。

平成26年度には、自由通路の幅員や駅南広場の面積、概算工事費、費用便益等を検証しました。

そこで、今後、事業を進めるにあたり、市民の皆様のご意見を反映させることができるよう、本事業に対する皆様からの意見を募集します。

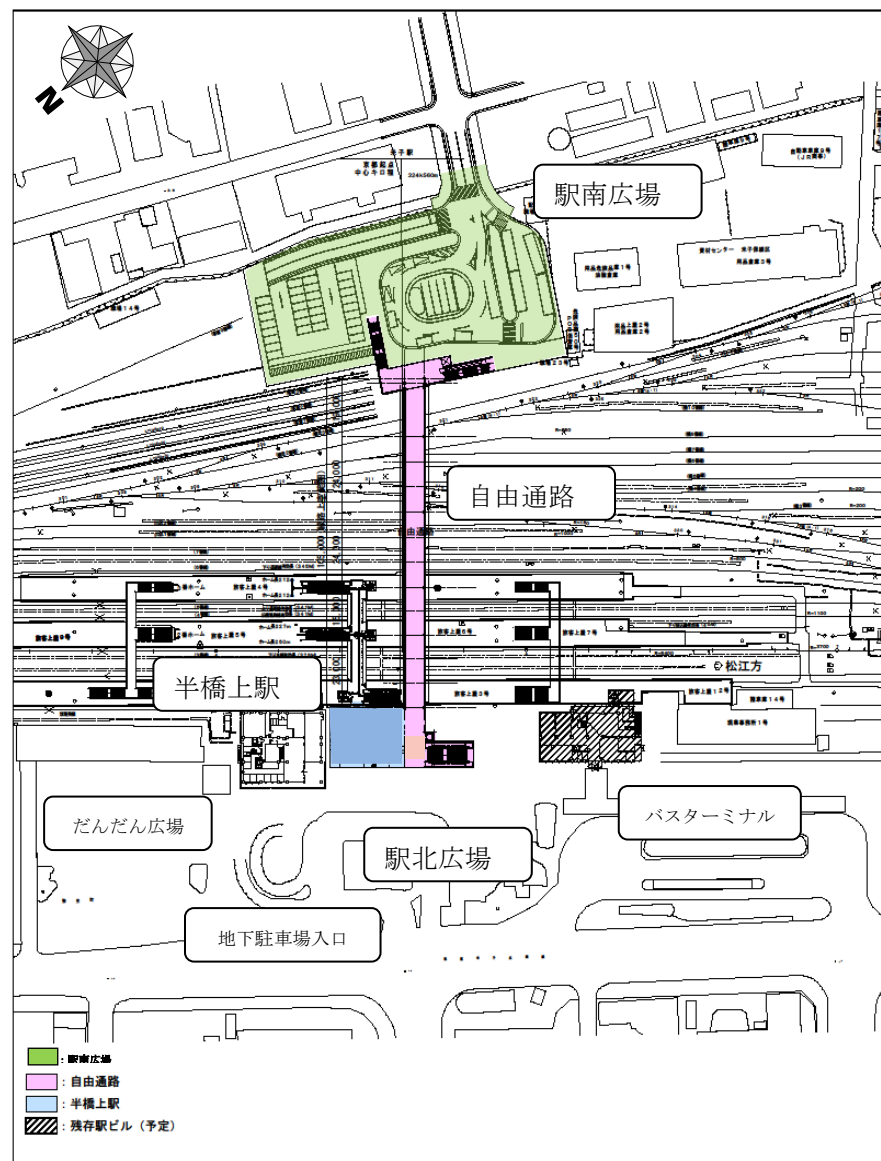
なお、米子駅南北自由通路等整備事業とは、駅南広場、自由通路、半橋上駅を整備するものですが、駅北広場や駅周辺の機能などについても、幅広いご意見をお待ちしています。

1. 事業の目的

現在、米子駅周辺は、JR山陰本線で駅南・駅北地区に分断されており、両地区の連携の不足や移動の円滑化、歩行者の回遊性などが課題となっています。また、駅へのアクセスは、駅の北側に位置する駅北広場に限られており、駅北広場へのアクセス集中による交通渋滞も課題となっています。

米子市では、この課題の解決するため、米子駅南北自由通路等整備事業により駅南広場、自由通路等を整備することで、交通結節点としての機能強化による都市交通の円滑化や駅南地区の利便性の向上を図り、米子市の玄関口にふさわしい都市環境を創出することとしています。

計画平面図（素案）



2. これまでの経緯

1) 米子市では、駅南地区の活用を視野に入れ、駅南北が一体化したまちづくりのため、平成7年度から調査・検討をしてきました。

○平成7年度

線路上空に駅と地盤を作る「橋上駅+※人工地盤」、鳥取駅や松江駅のような線路を上空に持ち上げる「鉄道の高架化」、倉敷駅のような線路上空に駅と通路を作る「橋上駅+自由通路」の3案について比較しました。

※人工地盤とは2階部分に作る幅の広い通路です

○平成9年度

上記3案を検討した結果、操車場などの鉄道施設の移転を伴う案は、実現性が困難と判断し、「橋上駅+自由通路」案を選定しました。

自由通路の位置については、橋上駅や駅北広場との一体利用、利用者の利便性、施工性、支障建物などについて総合的に評価した結果、駅の中央が最も妥当な位置と評価しました。

○平成17～18年度

平成9年度の案を基本として、自由通路の必要な幅員、駅南広場の必要な機能を考慮し、駅利用者、バス・タクシー利用者などの歩行者動線を検討し、自由通路の位置は橋上駅と一体的な利用が出来る現在計画している位置が最も高い評価となりました。

○平成26年度

橋上駅より安価となる地上2階部分に駅を作る倉吉駅のような半橋上駅への変更案について検証を行い、今回の計画素案を作成しました。

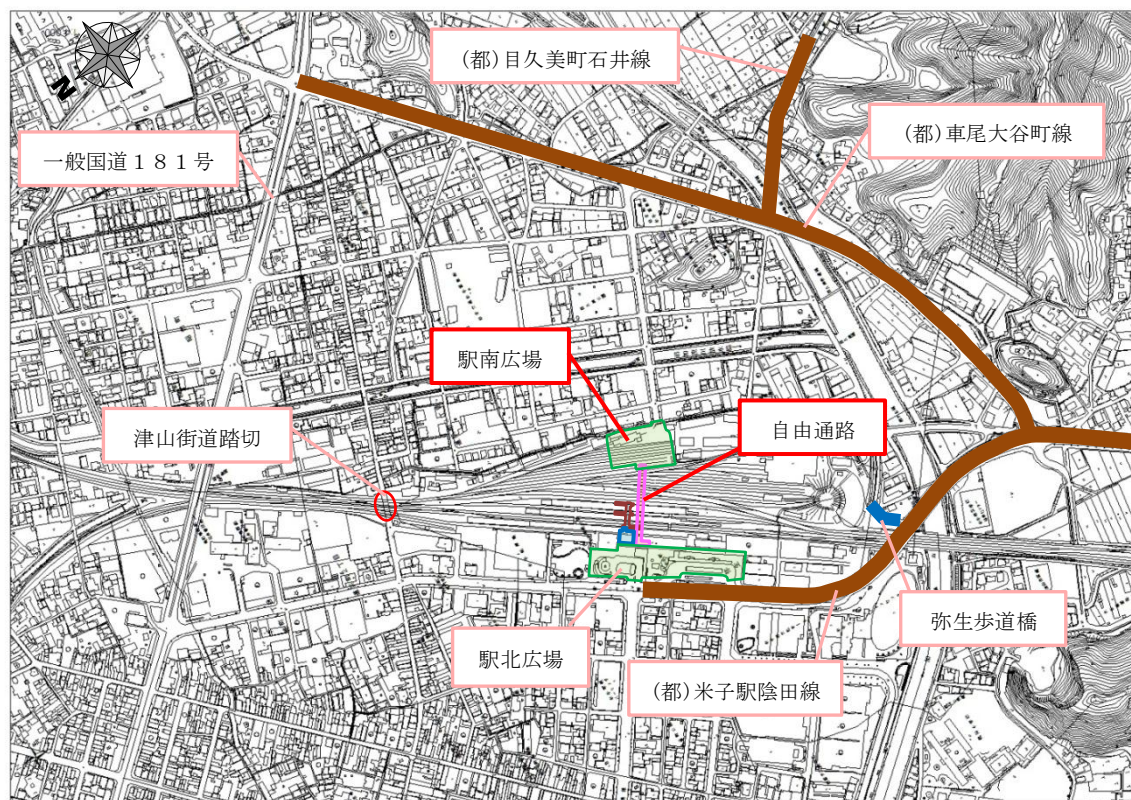
2) この間、米子駅周辺の交通の円滑化のため、先行できる下記の交通網等の整備を行っています。

○鳥取県は、(都)米子駅陰田線、(都)車尾大谷町線、弥生歩道橋などの整備により、米子駅周辺の交通の円滑化を図りました。

○JRは、津山街道踏切(市道道笑町通り線)のコンパクト化により、踏切遮断時間の短縮等、交通の円滑化を図りました。

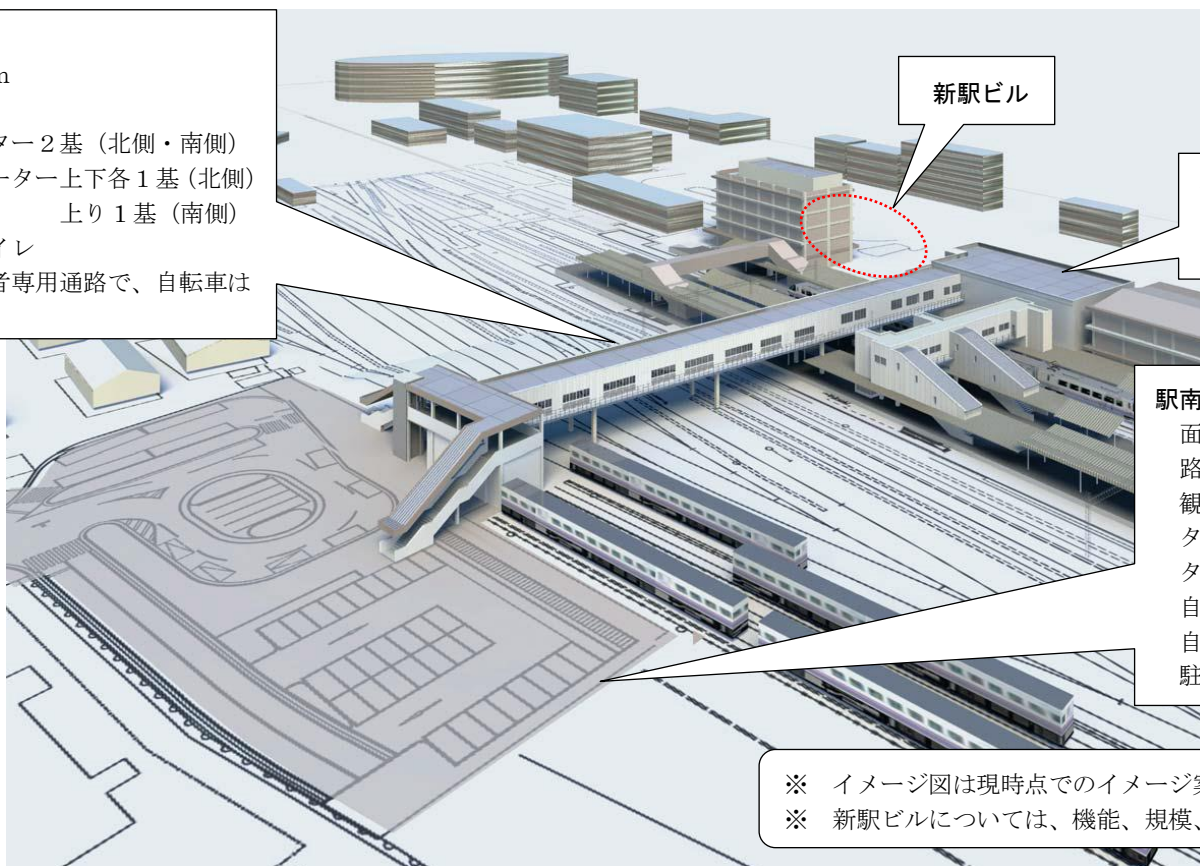
○JR、鳥取県及び米子市は、JR米子駅構内のバリアフリー化を図り、利便性、安全性の向上を図りました。

※なお、山陰の主要駅(鳥取駅、倉吉駅、松江駅、出雲市駅、浜田駅)については、既に駅南北の一体化がなされています。



計画イメージ（素案）

自由通路
 延長 約105m
 幅員 6.0m
 主な施設 エレベーター2基（北側・南側）
 エスカレーター上下各1基（北側）
 上り1基（南側）
 多目的トイレ
 なお、自由通路は歩行者専用通路で、自転車は通行できません。



新駅ビル

半橋上駅
 建物の2階部分に
 駅機能を設置

駅南広場
 面積 約4,730㎡
 路線バス乗降場 乗降合わせて1バース
 観光バス駐車場 4台
 タクシー乗降場 乗車1バース、降車1バース
 タクシー待機場 8台
 自家用車乗降場 4バース（身障者用含む）
 自家用車駐車場 30台
 駐輪場 60台

※ イメージ図は現時点でのイメージ案であり、今後変更することがあります。
 ※ 新駅ビルについては、機能、規模、事業主体等は未定です。

3. 事業の概要

1) 概算工事費（税込み）
 約50億円

自由通路	33億円
駅舎(半橋上駅)	7億円
駅南広場	4億円
用地費	2億円
測量・設計等	4億円

※調査を行わなければ明らかにできない駅ビル等の移転補償費については、計上していません。

2) 事業年度

平成27年度～

4. 費用便益比（B/C）

本事業の費用便益比は、一部の補償費を計上していませんが、現段階では便益が費用を超えています。

本事業の費用便益比 1.38